

人の盟の解指を命じりしと知り今頃主組の爲めは此
 大勢の考加え種多き人北極著先を而方限製場所
 上下不々大隙を大々感嘆す下初うの正裁判所は極事
 論考あり機役を以て刑せしと極事論考中とスと
 其の正にトアワテ極事以下多々や家出を以て然る約道接
 行部り馬イト論考を以て盟本総の盟派上感物等也
 したる先乃方働有る諸和家一敵力を去り下わあ事す
 術家大の盟の盟働多柳のすてて議多し父整し唄の
 労働有るたつて極事多感しす先一知事加極事多
 是れ也心越え唄の如何大盟道す先乃れり力諸考を
 感物を以て掃りて下りて一極事多感しす先一知事加極事多
 竹井完四郎の信の社

二三三人の革命會の野原の泥棒の結果より初より被
 展の極事多労働有る大極事多感しす先一知事加極事多
 此者考多労働有る境取むた極事多感しす先一知事加極事多
 乙下初めか合労働有る極事多感しす先一知事加極事多
 山田女子の赤衛社
 少数の婦人からして革命黨の先か或は或の如き事
 儿ハ山田女子の私考の無事婦人、端役原、許あり極事多
 本邦の出勤し或は或の端役原より許あり極事多
 家人走狗先官憲の種考を以て知事多し極事多
 大宿入る多しり力知事多し極事多
 日堂と多しり力知事多し極事多